

令和5年7月28日付け 知事部局人事異動の概要

新たな組織体制が7月28日にスタートすることに伴い、適材適所による人事体制を整備した。

○令和5年7月28日異動数 109人

令和5年4月1日異動 882人 + 令和5年7月28日異動109人=991人(令和4年4月1日異動885人)

※4年前の知事選時の異動を超える規模 (R元年異動 866人 (4月 773人、7月 93人))

(参考) 知事部局の女性管理職(課長級以上) 職員割合は19.8%(令和5年4月19.8%)

(内訳) 知事部局の管理職昇任者数(部長級1名、次長級1名、課長級2名) ※下記下線者が部次長昇任者

① 政策推進のための新たな体制

・県政推進に向けた総合調整を担うエンジン部局として、本部内に政策戦略局、デジタル局を配置する政策調整機能や情報発信を集約した「政策戦略本部」を設置し、櫻井本部長の下、推進体制を整備。

◆政策戦略本部長 櫻井 理寛(部長級) 現 総務省自治行政局公務員部公務員課
給与能率推進室長

◆デジタル局長 下田 耕作(次長級) 現 デジタル・行財政改革局デジタル改革推進課長

② 輝くふるさと鳥取づくりに向けた体制

・地域の活力を再生し、輝くふるさとづくりを進めるため、本部内に買物環境確保等を所掌する中山間・地域振興局、インバウンドや万博対応を推進する観光交流局を配置する「輝く鳥取創造本部」を設置し、遠藤本部長の下、推進体制を整備。

◆輝く鳥取創造本部長 遠藤 俊樹(部長級) 現 交流人口拡大本部長

③ 孤独・孤立防止に向けた体制

・生活保護、ひきこもり、ヤングケアラー等の業務を集約した「孤独・孤立対策課」を置き、孤独・孤立対策を一体的に推進していくための体制を整備。

◆福祉保健部参事監兼ささえあ 中島 真子(次長級) 現 中部総合事務所県民福祉局地域福祉課長
い福祉局孤独・孤立対策課長

④ 子育て王国の推進に向けた体制

・子育て施策の更なる充実を図るため、子育て・人財局を「子ども家庭部」として部に格上げし、中西部長の下、推進体制を整備。

◆子ども家庭部長 中西 朱実(部長級) 現 子育て・人財局長

⑤ 地域社会振興の体制

・地域づくり推進部を地域社会振興部に改組するとともに、人権・同和対策課及び女性応援課を配置した人権尊重社会推進局を設置し、すべての人が尊重され、性別の差なく誰もが輝ける社会づくりを推進していくための体制を整備。

◆地域社会振興部長 盛田 聖一(部長級) 現 地域づくり推進部長兼中山間・地域交通局長

◆人権尊重社会推進局長 明場 達朗(次長級) 現 人権局長

⑥ 自然共生社会の推進に向けた体制

・生活環境部に「自然共生社会局」を置き、自然共生社会や環境保全を推進していくための体制を整備。

◆自然共生社会局長 中村 吉孝(次長級) 現 生活環境部参事監
兼脱炭素社会推進課長

⑦ 土木インフラの整備・維持管理の体制

・県土整備部に「道路局」及び「河川港湾局」を置き、土木インフラの整備や適切な維持管理の推進体制を整備。

◆道路局長 米増 俊文(次長級) 現 道路企画課長

◆河川港湾局長 岩下 浩之(次長級) 現 県土整備部次長兼河川課長